

グローバル・コミュニケーション研究所
2019年度活動概要
〈2019.4～2020.3〉

刊行物

- 『GCI キャンパス・レクチャー』第7号（2018年度講演会報告集）
 - I Can. I Must. I Will. 私にはできる、やらねばならない、私はやり遂げる
(DeeDee Trotter)
 - 様々なステークホルダーが連携して取り組む地域づくり
 - ベトナム・農村部の挑戦 (伊能まゆ)
 - メディアと音楽にこめる沖縄
 - 民が織りなす文化芸術・ことば・歴史の調べ (宮里英克)
 - 〈日韓グローバル・ダイアログ〉
 - 「激動する世界と日韓関係——次世代へのメッセージ」
(李洙喆、宮内孝久)
 - 移民への教育政策—フランス、イギリス、EUの取り組み
(小山晶子)
- Pakistan: Achieving Peace, Stability and Progress
 - パキスタンの平和、安定、発展を目指して
(アリ・アンサー・ザイディ)

研究プロジェクト

- 政策ディベート教育のアイデンティティ形成とアイデンティティの政治への影響

代表：田島慎朗（本学国際コミュニケーション学科准教授）

- 外国人労働者受け入れをめぐるポピュリズムの言説と政策的対応の比較検討：オリンピック以後の日本社会への示唆

代表：小野塚和人（本学英米語学科講師）

GCI キャンパス・レクチャー・シリーズ講演会

- 第56回（2019年5月22日）「外国人受入れ新政策——日本の未来はどう変わるのか？」

毛受敏浩（（公財）日本国際交流センター執行理事）

司会：木村昌人（本学国際コミュニケーション学科非常勤講師）

- 第57回（2019年6月6日）〈日米交歓ディベート〉「Gender and Communication」日本ディベート協会企画運営、GTEC 特別協賛、米国コミュニケーション学会国際ディスカッション・ディベート委員会、全国高校英語ディベート連盟協力

ルース・J・ピアマン（ランドルフ・メイコン大学コミュニケーション学部助教授）

司会：田島慎朗（本学国際コミュニケーション学科准教授）

- 第58回（2019年7月3日）ラグビーを知ってワールドカップを楽しもう！——オセアニア地域におけるラグビーの特徴と社会経済的背景「南の島のラグビー強豪国——トンガとフィジーにおけるラグビーの持つ社会経済的意味」

グローバル・コミュニケーション研究所 2019 年度活動概要

小野塚和人 (本学英米語学科講師)

「オセアニア地域のラグビー選手におけるパフォーマンスの特徴」

木内 誠 (本学非常勤講師)

司会: 小野塚和人

- 第 59 回 (2019 年 11 月 11 日) 「大胆なビジョンをもつ勇氣は、進化する力となる」

田中道昭 (立教大学ビジネススクール教授)

司会: 鶴岡公幸 (本学国際コミュニケーション学科教授)

- 第 60 回 (2019 年 11 月 27 日) 「中小企業経営者が思う神田外語大学生に期待すること」

諸岡良和 (米屋株式会社代表取締役社長)

司会: 木村昌人 (本学国際コミュニケーション学科非常勤講師)

- 第 61 回 (2019 年 12 月 5 日) 「コンボ共和国について、外交官のキャリアについて」

レオン・マラゾーク (コンボ共和国駐日大使)

司会: 前澤宏和 (本学学事部課長)